

2024-25 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第 1597 回 (23)

会 長 鹿 内 要 秀 幹 事 吉 山 聡

クラブ会長テーマ



「 奉仕によるこび、よりよい社会を築こう 」

日 時	2025 年 1 月 14 日 (火) 12 : 30 ~
場 所	福山ニューキャッスルホテル
例会行事	点 鐘 ・ ソング 「 我等の生業 」 ゲスト・ビジターの紹介 (出席報告参照) 会 長 報 告 幹 事 報 告 出 席 報 告 S A A 報 告 ス マ イ ル 報 告 プ ロ グ ラ ム 情 報 そ の 他 報 告
その他情報	メークアップ情報 (来週分) メークアップ情報 (再来週分) 今後の行事予定 クラブ活動報告



【 会 長 報 告 】



ロータリークラブの会員の平等性

ロータリーの会員同士は長幼の序は厳としてありますが、その立場は全員平等です。それは相手がガバナーであっても同じです。その理由は、同じ理念をもって奉仕に協力する仲間だからです。反対に理念もなく奉仕に協力もしない者には、厳しい言い方になりますがその人には平等の権利がないということになります。

つまり我々ロータリアンがロータリー内で誰とでも平等であるためには奉仕の理念をよく学び実践することが条件になるのです。


今年度も会員がたくさん増えました。これはとても頼もしいことでもあります。そこで、ロータリー情報委員長の竹中先生が三分間スピーチなどで、会員の新旧を問わず奉仕の理念について教えてくださっております。新会員の方には難解な説明もあると思いますが、不明点はそのままにせず、質問するなり調べるなりしてしっかりと解決してもらいたいと思います。

そうしなければいつまでも奉仕の理念が身につかず、クラブのお客様のままで真の平等の関係にはなれないと思います。

今月は職業奉仕月間ですが、ロータリーの言葉に「入りて学び、出でて奉仕を実践しよう」とあるのは、例会で奉仕の理念を学び、その理念を職場で実践しようということだと思いますから、先ずはみんなでしっかり学びましょう。



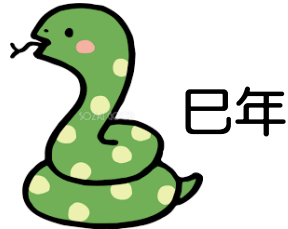
【 幹 事 報 告 】



No.	内 容
1	第 2710 地区事務局 ・ 2025 年 1 月 職業奉仕月間リソースのご案内 ・ 財団室 NEWS 2025 年 1 月号 ・ 米山学友会より 2024-25 年度米山学友会賛助会員入会のお願い
2	三次中央 RC より ・ 女性ロータリアンの集いご案内
3	福山西 RC 会長・幹事より ・ 会費請求書についてのお知らせとお願い

【 プ ロ グ ラ ム 情 報 】

《 年男・年女 新春放談 》



昭和 16 年生れ

石岡 紀彦 さん



私は昭和16年生まれですので、今年の干支である巳年に当たりますが、生まれてから7回目の干支を迎えることになりました。巳年は「再生と誕生」あるいは「実を結ぶ」年とも言われており、それにあやかって、今のマンネリした生活から脱却して、残り少ない人生に再生の道を模索してみたいものです。とは言え、高齢につき心身共に衰えており、取分け数年来より喉の調子が悪く思うように喋れない状態が続いておりますので、本日の放談は失礼させていただきます。その代わりというわけではありませんが、巳年とはどんな年であるか、その雑学についてネットで調べてみましたので、それを以下に紹介させていただき、放談に替えさせていただきます。

【実際に起こった過去の出来事】

<1977年>

- ・王選手のホームラン世界新記録更新により「国民栄誉賞」が創設された。
- ・「ひまわり」や無人宇宙探査機「ボイジャー2号」の打ち上げが行われ、科学発展の基礎となった。

<1989年>

- ・日本の歴代元号の中で最も長く続いた激動の昭和から「平成」へ。

<2001年>

- ・「アメリカの同時多発テロ」の発生により国際テロ組織の脅威を世界に知らしめた。
- ・当時の皇太子・同妃の間に初子である「愛子内親王」が生まれた。

<2013年>

- ・東京都が夏季オリンピック開催地に選ばれ「2020年東京オリンピック」開催が決定。まさに戦後から復興（再生）し大きく成長（誕生）した日本を象徴することとなった。
- ・東日本大震災から2年、創設9年目にして「楽天ゴールデンイーグルスが初の日本一」に輝く。

<2025>

- ・大阪湾の人口島・夢洲で「大阪万博」が開催されます。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに少子高齢化やエネルギー課題、最先端技術や英知を解決してゆく、まさに「再生」と「誕生」を象徴

する年となるのでは。

【巳年生まれの長所】

向上心が高く、自分の弱点や問題点を克服するための努力は怠らない性格。

常に目標向かって自分を高め、計画を周到に練りながら冷静に物事を進めることができる計画性の高い特徴が目立つ。

また、獲物を狙うような高い集中力で粘り強く物事をこなし、着実にレベルアップすることが得意で、負けず嫌いな性格から何度転んでも立ち上がるような、打たれ強さも持ち合わせています。そんな巳年生まれは、自分の能力を極限まで高め、その能力や芸は名人芸と呼ばれるような「名人肌」の人が多いとされています。

【巳年生まれの短所】

高い向上心と集中力を持ち合わせている分、一つのことに執着しすぎて周りが見えなくなることがある。また、負けず嫌いな性格は高いプライドに繋がり、人に弱みを見せることを嫌い、自分のことを話そうとしない秘密主義の傾向がある。また、他人への興味より自己顕示欲が強いので、冷静沈着な性格から感情が薄く冷たい人だと誤解されやすいタイプとも言える。

*以上の長所、短所共に私にはまったく当てはまらないようです。



昭和 28 年生れ

竹中 雅彦 さん



今年で還暦を迎えました。十数年前にも還暦でしたが、それから年齢は数えないことにしています。ですから今年も還暦で毎年新たなスタートといつも思っています。恰好つけてと思われがちですが年齢が思考の先に来ると必ず後ろ向きになってしまいます。どんどん尻すぼみになってきます。この年になるとさぼろうという気持ちと目的を成し遂げようという気持ちの葛藤があります。心の中に火を灯さなければ必ず後退するでしょう。若い人たちは情熱や心の中に燃えるものがあり前向きの思考で満たされていますが、私の年代になると炭をいつも扇がないと燃えません。

自分で炭を扇いで火を燃やして気持ちはいつも前に前にとしています。

昨年から広島県獣医師会の理事、福山市獣医師会会長（支部長）職を辞しまして今年からは公益財団法人・動物臨床医学研究所の理事、動物臨床医学会の理事、福山西 RC と動物病院の院長職に専念していきます。まだ少し仕事が多い気がしますが、ストレスがありアドレナリンが出ている方が働けます。

今年の目標は二つあります。一つは私と東シが開発し、日本ではすでに発売されているネコの慢性腎臓病薬（ラプロス）を何とかヨーロッパで発売までこぎつけられればと願っています。ヨーロッパでの治験が終了し、ようやく今年から動き出します。

もう一つの目標は、現在、獣医療とは少し離れるのですが動物の防災について取り組んでいます。

2018年の西日本豪雨の際に福山地方も被害を受け避難施設に多くの被災者が避難されたのですが、そこには伴侶動物の姿はなく伴侶動物と共に車中泊された方や後日談では伴侶動物がいるため避難されなかった方も多数おられました。石川県で発生した地震の際に避難施設の外に繋がれたイヌやテント内のケージに収容されている伴侶動物がいましたが、もし昨年のように猛暑であれば多数の動物が死亡した可能性があります。避難施設の運営は行政が担当するのですが避難した動物の管理と運営はすべてボランティア団体に任せられています。昨日も九州地方で大きな地震がありました。来るべき東南海巨大地震に備えなければなりません。人と共に伴侶動物の安心安全な施設確保に向け道筋を作りたいと思います。

民芸作家の浜田庄司さんのお言葉ですが道を歩かない人、歩いたあとが道になる人という言葉あります。私が歩いたあとが道になればと心に思い仕事に励んでいます。



昭和 52 年生れ

三谷 篤史 さん



私は、3日前に入会をさせて頂きました大和建设㈱の三谷と申します。宜しくお願い致します。1977年（昭和52年）生まれの巳年で今年年男となります。いままで、年男等意識したことはありませんでしたが、今回このような放談の場を頂き考えるきっかけとなりました。

皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

巳年生まれの性格・特徴

一般的に、巳年生まれは私的で寡黙・自身の判断に従って行動する傾向があり執着心が強いという特徴があります。一度決めたことはあきらめず、結果が出るまで粘り強く取り組むタイプです。簡単に言えば「しつこい」という事です。

また、かなり現実的な性格をしていますが、その一方で高い理想を持つという特徴もあります。

巳年生まれの男性の性格

他人とは異なり、巳年生まれの男性はロマンチストです。他人に甘く意味のある驚きを与える。また創造的で思いやりがあります。

→自分で話をしているながら凄く恥ずかしく思っています。

今年の抱負

私は中学から大学まで軟式テニス（ソフトテニス）を続けてまいりました。自分の息子・娘がきっかけとなり、ボランティアで中学校・高校の外部コーチをして約8年になります。自分の経験値でしか指導できませんが、どうすれば分かりやすく伝えられるか悩みながら自分の成長にもつなげると考え続けております。

体力的にきつくなってきていますが、福山 No.1 を目指します。

最後に、福山西ロータリークラブで自分を磨き成長したいと思っておりますので皆様方のご指導の程宜しくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。



平成元年生れ

茂原 祥司 さん



皆さん、本日は「遺品整理業の裏側」についてお話しさせていただきます。遺品整理業というと、単に物を片付けるだけの仕事と思われがちですが、実際には多くの専門知識や人間的な配慮が求められる奥深い仕事です。まず、遺品整理の基本的な流れをご紹介します。最初に事前打ち合わせを行い、ご遺族と整理する品物の優先順位や残しておきたいもの、処分するものを確認します。特に、相続や法律に関わる重要書類が含まれている場合は慎重な対応が求められます。次に、整理と仕分けの作業に入ります。物を「必要なもの」「不要なもの」「リサイクル可能なもの」の3つに分類し、お客様と共にどの品物が生活や思い出にとって重要か判断し、特に写真や手紙など感情的価値の高いものはご遺族の心情に配慮して扱います。その後、処分・リサイクル・寄付のステップに進みます。家具や家電などの不要品は法律に則り適切に処分し、リサイクル可能なものは再利用されるよう手配します。物品を梱包し移動や引き渡しの準備を整えることも仕事の一環です。一部の物品は国内外での寄付やオークションを通じて新たな価値を見出されることもあります。最後に清掃と整理後の確認を行い、整理した空間を清掃してからご依頼者様に最終確認をいただきます。必要であれば追加作業を提案し、作業が完了します。このように、遺品整理には一連の流れがありますが、そこには多くの難しさが伴います。例えば、法律や契約の知識が必要です。遺品の中には土地の権利書や株券といった重要書類が含まれることがあり、それらを誤って処分しないためには法的知識が不可欠です。また、ご遺族にとって遺品整理は非常に感情的なプロセスであるため、心理的ケアも重要です。お客様の気持ちに寄り添い、焦らせず、時間をかけて対応することが求められます。例えば、「この箱には手を付けないでほしい」というリクエストに丁寧に耳を傾けることが重要です。さらに、物の価値を見極める目も必要です。一見不要に見えるものでも、骨董品や美術品など高い価値を持つ場合があります。これを見逃さないために、私たちは専門家の意見を取り入れることもあります。また、多様な依頼内容に対応する柔軟性も求められます。ご遺族だけでなく、不動産業者や行政からの依頼もあり、それぞれのケースに応じた対応力が必要です。私たちは遺品整理の現場でさまざまな経験をしています。特に印象に残るエピソードをご紹介します。ある高齢のご夫婦が長年住んでいた家を整理する依頼を受けた際、トランクの中にご夫婦が若い頃に交わしたラブレターが見つかりました。その手紙の存在を知らなかったご家族は大変驚かれ、結果的に家族全員で感動を共有するきっかけになりました。また、別のケースでは故人が趣味で使用していたヨットのパーツが見つかりました。ご遺族はすべてを持ち帰ることが難しい中、象徴的なカラビナを選び、それを形見として大切にされました。さらに、息子さんが知らなかった高級車の鍵が発見され、一緒に確認しに行ったところ、エンジンが無事に作動し、その車が形見として持ち帰られることになりました。このようなエピソードから、遺品整理は単なる片付けではなく、人々の心に触れる深い仕事であると実感します。私たちはプロとして特に注意すべき点をいくつか持っています。一つ目はプライバシーの保護です。個人情報が含まれる書類やデータを厳重に管理し、適切に処分します。二つ目は環境への配慮です。廃棄物を減らすためにリサイクルやリユースを積極的に行い、使える家具や家電は修理して再利用する仕組みを整えています。三つ目は迅速かつ丁寧な対応です。特に遠方からの依頼や急を要するケースでは、スピード感を持ちながらもご遺族の意向を第一に考えたサービスを提供しています。遺品整

理業の社会的意義も重要な要素です。高齢化社会が進む中、遺品整理は単なるサービスではなく、社会問題に向き合う仕事となっています。孤独死の増加に伴い、行政と連携して対応するケースも多くなってきています。また、遺品整理をきっかけに「生前整理」や「断捨離」の重要性が広く知られるようになり、これらを通じて人々が自分の人生を見つめ直す機会を提供しています。さらに、遺品整理は家族間のコミュニケーションを深める場にもなります。ご家族が共に整理を進める中で故人との思い出を共有し、絆を再確認するきっかけとなるのです。遺品整理を通じて、亡くなられた方の人生が次世代や地域社会に新たな価値をもたらすことができるのも、大きなやりがいの一つです。最後に、遺品整理の仕事は物を整理するだけでなく、人々の心に寄り添い、その人生に触れる仕事です。このような仕事を通じて得られる感動や学びは非常に貴重です。本日のお話が遺品整理業の奥深さや社会的意義について少しでも理解を深める助けになれば幸いです。もし周りで遺品整理に関してお困りの方がいらっしゃいましたら、ぜひ私たちのような専門業者にご相談ください。ご清聴ありがとうございました。



【その他報告】

《 3分間スピーチ 》

ロータリー情報委員長 竹中 雅彦

四つのテストはハーバード J・テラー氏が自らの会社の立て直しに使用した事業の倫理要綱です。通常の事業の倫理要綱はもっと長々した文章で項目も多いのですがテラー氏は、非常に簡潔に4つの項目にまとめました。原文は以下の通りです。

The Four-Way Test

Of the things we think, say or do

1. Is it the TRUTH?
2. Is it FAIR to all concerned?
3. Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
4. Will it be BENEFICIAL to all concerned?

四つのテストは、職業奉仕の倫理要綱でありましたが現在では四つのテストは、五大奉仕の倫理要綱となっています。

原文を取りまとめ和訳されたのが東京 RC の手島知健（ともたけ）氏です。

The Four-Way Test の和訳について第 60、61 区の各クラブから応募された約 70 通りの案をまとめられたのが手島さんです。まとめるのに大変苦労されたようです。最終的に残ったいくつかの案をまとめられたのが現在の四つのテストです。

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか、どうか

です。

私はクラブに入会にして以来、四つのテストが会社の再建にどのように活用されたのか。社員がこれを見てどのように理解したのであろうか疑問でした。

和訳が原文の意図する事とすこし異なるのではないかと考えていました。例えばみんなに公平

かを職業で考えると弁護士では無理があります。公平とは平均を意味しますので弁護士ではみんなに公平は無理があります。その場合、公正がよいのではないかと思います。

四つのテストを否定するつもりは全くありませんが、原文にはもっと深い意味が込められていることを私は思いいつも復唱しています。

ロータリーの友誌の1月号は私の抱いていた疑問を一掃してくれました。皆様ロータリーは哲学です。深いですよ。

《 各種表彰等 》

【皆出席】



《 連続32年 竹中 雅彦 さん 》

《 通算30年 登里 孝司 さん 》

《 連続 2年 松本 京子 さん 》

【クラブ活動報告】

特にありません。

